

2013年10月10日

日刊ゲンダイ

# 小沢捜査 あの捏造検事 方

生活の党の小沢一郎代頭を抱えているのだから表が無罪となった陸山会が、すっかり「第2の人事件で、デッチ上げ調書生」を歩んでいる。昨年を作った田代政弘元検事(6月、検事(46)の周辺がまた騒がを退職後、しくなってきた。東京第1検察審査会が9月下旬、田代に対する新たな審査申し立てを受理したのだ。



悠々自適の天下りライフを許すな。(円内は田代元検事)

7年後の東京五輪でも、ドーピング検査を担う中核と目されています」(経済ジャーナリスト) 田代は現在、総務部の「嘱託職員」それにしても、なぜ、調査捏造の問題検事を採用したのか。三菱化学メディアエンスは「在籍の有無も含めて社員の個人情報公開は控えていたが、さます」(総務部)と回答した。

## 優良企業に 再就職していた

田代は陸山会事件の捜査報告書捏造により、虚偽有印公文書作成・同行使罪で市民団体に告発されたが、不起訴に。検察審でも不起訴不当となり、強制起訴を免れた。ところが、同じ罪で田代を告発していた元大阪高検公安部長の三井環氏が検察の不起訴を受け、改めて検察審に申し立てを行ったのだ。

今ごろ、田代も「もういい加減してくれ」と

## 親会社は検察幹部の天下り先

りポストです。田代は法

「三菱化学メディアエン」に再就職していた。たき出す優良会社で、国を紹介したのは、検査上「臨床試験の製造、販売内唯一、ドーピング層部でしょう。親会社の会社で、年商約800億(禁止薬物使用)の検 三菱化学の監査役は代円、従業員は約2800名、分析機関でもある。々、検事長クラスの天下

